

提
案

新幹線総合車両センターに関する提案

新幹線統括本部より受ける！

2026年度新幹線総合車両センター業務計画について

グループ経営ビジョン「勇翔 2034」の目指す将来像に向けて、社員が仕事を通じて働きがいと自らの成長を実感し、安全を最優先として新幹線電車のメンテナンスを確実に実施していくために、グループ全体で連携して業務を遂行していく。

◆ 定期検査工事計画

- ・ 全般検査。台車検査【右図参照】
- ・ 交番検査（担当編成数）

E5系 26 編成

E926系 1 編成

E956系 1 編成

2026年7月よりE5系 24 編成へ変更

◆ 主な改造工事計画

- ・ 小型状態監視記録装置搭載工事
- ・ 地震対策排障器搭載工事
- ・ 福島アプローチ線新設に伴うATC-DB改修工事
- ・ 列車分離対策工事

◆ 車両計画

- ・ 投入計画 なし
- ・ 廃車計画 なし

◆ 業務等の見直し

- ・ 台車検査試運転業務を新幹線総合車両センター全体で融合した体制に移行

◆ 実施期日

- ・ 2026年4月1日



形式	検査両数（両）		
	全般検査	台車検査	計
E2系	60	0	60
E3系	0	0	0
E5系	154	180	334
E6系	43	63	106
E7系	144	168	312
E8系	21	28	49
E926形	0	0	0
E956形	0	10	10
計	422	449	871

提案箇所体制について

箇所名		現行			改正		
		変形等	交代	計	変形等	交代	計
新幹線総合車両センター	管理	29	1	30	29	1	30
	一般	200	6	206	203	6	209

※業務の繁閑等に応じて1日当たりの出面数（作業ダイヤ数）を柔軟に設定する。

※上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。

提案内容に関するやり取り（要旨）

新潟新幹線車両センターで新たに「E5系3編成」の交番検査を施行

組合）新幹線総合車両センター（以下、幹総）のE5系の交番検査が、7月より2編成減るがなぜか。

会社）幹総の交番検査の業務量が高くさらに業務量の増加が見込まれるため、新幹線ネットワーク全体で業務量を平準化していくことを目的に、7月よりE5系3編成を新たに新潟幹セで交番検査を施行、4月に新潟幹セのE7系3編成を長野幹セで受け入れ交検施行担当編成数の変更を実施する。

組合）長野幹セはE7系3編成増えるが、受け入れ体制は大丈夫か。

会社）長野幹セ含め新潟幹セ、盛岡幹セについても現体制のままで対応出来ると考えている。

組合）新潟幹セE5系の教育訓練はどのように行うのか。

会社）新潟幹セ社員が幹総に行き教育を受けたり、E5系を回送し新潟幹セ交検庫で対応し準備していく。